

当社は、アサヒグループが掲げる気候変動に関する中長期目標「アサヒカーボンゼロ」に基づき、2040年にScope 1, 2, 3においてCO2排出量を“ゼロ”とし、カーボンニュートラルの実現を目指します。その実現に向け、2030年にScope 1, 2におけるCO2排出量を2019年比▲70%削減を目標に、生産時に排出されるCO2の削減に努め、新たな付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2026年3月～2028年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

仙台工場の炭素生産性を21.3%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

仙台工場にMVR、バイオマスボイラー、排水嫌気処理設備を導入することで燃料転換等を実施し、エネルギーコスト削減による付加価値額の増加および、エネルギー起源CO2排出量の削減に繋げ、これらの取組みにより炭素生産性を向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<仙台工場外観>

